



株式会社はくばく (山梨県)

代表者：代表取締役 長澤 重俊

所在地：山梨県中央市西花輪4629

業種：食品製造業

事業内容：精麦、雑穀、乾麺、麦茶の製造・販売

設立年：1941年(昭和16年)



従業員数：422人（男性311人、女性111人）

URL：<http://www.hakubaku.co.jp>

企業の取り組み状況等

背景

社員が「健康的・元気に」「家族との時間、自分の時間を大切に」「継続的に長く」はくばくで働くことができるよう働き方改革を推進

取組

- 在宅勤務
 - ・在宅勤務手当及び在宅勤務の初期費用手当の導入
- 女性活躍推進
 - ・働き方改革プロジェクトによるアンケート、子育て世代との座談会の実施
 - ・スライドワーク（時差出勤）、在宅勤務制度、育児短時間勤務制度、部分在宅勤務制度の導入
 - ・育休復帰前アンケートの実施や総務との面談の実施
- 営業拠点の改善
 - ・産業医の巡視・従業員へのヒアリングを実施するなど労働環境、職場環境・設備のチェックを実施
 - ・営業車のハイブリット化
 - ・営業拠点の食事面での補助を行う「オフィスおかん」の導入
- 職場環境改善
 - ・デジタルサイネージを各工場に設置し、情報が少なくなる現場作業員へ常時情報を提供
 - ・生産・物流のインフラ整備、コミュニケーション、労働改善などを課題とした、生産改善プロジェクトを立ち上げ、作業環境の改善を実施
- 冒険会議（はくばくの冒険）
 - ・社内のファンを増やすことを目的に「はくばくの冒険」と表した会議を開始し、壁新聞の発行
 - また、4～5人のチームを作り、チームごとのディスカッションを実施し、全チーム分を冊子にまとめ、社員へ配布
- その他の取り組み
 - ・長時間労働対策として、時間外勤務時間数を管理職や役員に通知
 - ・連続して5日間使えるフレッシュアップ休暇の導入

成果

【実績】・スライドワーク勤務制度は生産部門以外の全社員対象とし、各自が月末に翌月の勤務時間を申請、全員がいずれかの時間帯を選択（生産部門以外の全社員200名対象） ・在宅勤務制度の取得は、各自が部門長の承認を得て実施（生産部門以外の全社員/200名対象） ・小学校3年生まで育児短時間勤務制度の取得実績12人（過去3年実績） ・部分在宅勤務制度の導入（1時間早く帰宅し、子どもを迎え帰宅後、22時までの間に1時間勤務）1人（過去3年実績） ・パートタイム・メイト労働者等の正社員転換の実績21人（過去3年実績） ・在宅勤務初期手当支給実績109人（過去3年実績） ・山梨大学ウーマンズコミュニティープログラムへの参加3人（過去3年実績）

【認定・表彰実績】・平成23年「くるみん」認定 ・令和3年「やまなし健康経営優良企業」認定 ・「健康経営優良法人」認定 ・「山梨えるみん」（えるぼし・くるみんの山梨県版）認定 ・「YAMANASHI ワーキングスタイルアワード」優秀賞



応援しています！

「人こそ全て」を活動のベースに取り組んできました。社員にとってやりがいを感じられるのは、社員が自分で企画・実行し、それが成果を上げることによって、自分の成長を感じられ時ではないでしょうか。会社としてこれらをサポートし、各部署で実行していくよう応援します。

活用しました！

・夫婦で勤務しています。短縮勤務制度やスライド勤務制度を活用し、お互い協力しながら子育てができる環境にあり、とても助かっています。（30代女性）

・第一子の出産にあわせ育児休暇を取得しました。育児休暇を取ったことで育児の大変さを理解し、育児にも参加できるようになったと思います。また、「育児を手伝う」という感覚を抱かないためにも、一日一日成長する子供の様子を肌で感じるためにも、積極的に男性も育休取得をすべきと感じました。仕事復帰後も週3～4日は在宅勤務をしており、通勤時間の分を洗濯に充てたり、昼休憩中に昼食づくりと並行し夕食の準備までできるため制度ができてとても助かっています。（30代男性）